

毎日全クラスをごろごろ「小屋」で廻って、「昭和な紙芝居」をしています。拍子木を叩きながら「とざいとうざい（東西東西）！」のかけ声で始め、小屋に乗っている木の小人くんが「僕と一緒に見る人？」と聞くと、「は〜い！」と元気よくお返事があり、各クラスのために選んだ作品を三つずつ上演します。

すみれ組：驚異の「集中」は、人気アニメの「全〜」に匹敵するほどで、こちらの顔の皮をぐいぐいと引っ張るほどの力を感じます。無垢なゼロ歳児ならではの知ろうとする・学ぼうとする意欲は本当に素敵です。最初のお返事も最後の拍手もしっかりと、その上に「タッチ」までわざわざ来てくれるので、毎回「恐縮」しつつ、昔話のじじばばのように「ありがたや・ありがたや」と感動しています。

たんぽぽ組：流れのあるお話が分かるようになっていきます。特にダークヒーローの狼は人気で、怖がりながらも、小屋の裏から一生懸命山場で「吠える」と、後から「おーかみよかったね」とお褒めのコメントが聞こえてくるので、毎日夜更けの浴槽で「遠吠え」の練習をし、もっと褒めてもらおうと研鑽に努めています。

れんげ組：始まる前から「今日はなんの紙芝居？」に始まり、ストーリーを先読みして笑ったり怖がったりするような、理解し楽しむ力を相当に備えた「つわもの」揃いなので、こちらも負けないう真剣勝負で臨んでい

ます。残りの2か月では、更に長く味わいのある作品に進めてゆきます。
とまあ、園長冥利に尽きるのが「毎日の紙芝居」で、限りなく幸せ♡と感謝しつつ、楽しませていただいています。お子ちゃま達、本当にありがとう！！

園長 山内 香幸